

市川市 外郭団体経営状況シート

作成日	令和5年11月1日
-----	-----------

1. 団体概要

団体名称	公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団	所管部署	街づくり部公園緑地課
代表者名	竹内 一雄	所在地	市川市国府台3-9-1
設立年月日	平成25年4月1日	基本財産 (市川市出資比率)	1,460,000 千円(44.52 %)
設立目的	市川市花と緑のまちづくり財団は、広く市民その他の積極的な参加と協力による緑地の取得、保全及び、緑化の推進を図り、もって健康で快適な潤いのある環境づくりに資することを目的としている。 平成25年4月1日、市民と協和し、花と緑の推進によりまちづくりを進め地域環境の保全を寄与することを目的に、前団体、財団法人市川市緑の基金から、公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団へ移行した。		
事業内容	①公益目的事業 (1)花と緑の普及啓発事業(花と緑の講座、いちかわローズフェアの開催及びイベント参加等) (2)花と緑の推進事業(市民ボランティアの活動支援、公共施設への花苗配布) (3)緑化助成事業(生垣助成、屋上緑化助成、駐車場緑化助成、花壇設置助成、緑化団体への助成) (4)公園内バラ園の管理の受託及び、里山環境保全管理の受託 (5)緑化保全事業(江戸川桜並木の維持管理) ②収益事業 (1)自動販売機事業		

2. 組織状況

(令和5年4月1日現在)

(単位:人)

	常勤	非常勤	計
役員	1	16	17
うち市退職者	1	1	2
うち市現職者	0	3	3
職員	7	3	10
うち市退職者	1	2	3
うち市現職者	0	0	0
うち障がい者	0	0	0
計	8	19	27
障がい者雇用率	0.0%	0.0%	0.0%
職員平均年齢	60.4歳		

3. 情報公開状況

(令和5年4月1日現在)

Webサイト	有
定款、寄付行為	有
役員名	有
評議員名	有
財務情報	有
組織情報	未

4. 財務情報

(単位:千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
総収入	120,087	134,438	91,651	113,168
総支出	122,910	137,854	89,540	105,678
当期収支	-2,823	-3,416	2,111	7,490
資産の合計	1,546,950	1,623,842	1,593,941	1,417,085
負債及び正味財産の合計	1,546,950	1,623,842	1,593,941	1,417,085
負債	29,804	40,763	17,743	27,367
正味財産	1,517,146	1,583,079	1,576,198	1,389,718
当期正味財産の増減	-35,076	65,933	-6,881	-186,480
市補助金	18,226	17,667	17,734	17,388
市委託料	62,505	68,461	20,000	33,284

5.評価指標

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
自立性	市補助金比率	15.2%	13.1%	19.3%	15.4%
	市委託料比率	52.0%	50.9%	21.8%	29.4%
	自主事業比率	46.2%	45.6%	34.4%	28.8%
効率性	管理費比率	5.2%	5.8%	10.6%	10.6%
	人件費比率	22.8%	0.0%	39.2%	32.5%
安全性	自己資本比率	98.1%	97.5%	98.9%	98.1%
	流動比率	132.1%	136.8%	202.8%	224.2%
	固定長期適合率	99.5%	99.3%	99.1%	97.9%

6.主要事業

(単位:千円)

事業名	公園バラ園管理			
区分	受託			
事業の概要	里見公園他7公園及び動植物園のバラ園の管理を受託 受託バラ園でバラ年間講座を開催			
計画の期間	平成16年度～里見公園のバラ園の管理を受託 平成23年度～6公園のバラ園の管理を受託 平成26年度～7公園のバラ園の管理を受託 平成26年度～草花維持管理を受託 平成27年度～東山魁夷記念館駐車場バラ園管理受託 平成28年度～動植物園ミニ鉄広場花壇整備受託 令和3年度～草花維持管理の受託契約がなくなる。 令和3年度～市川市庁舎駐車場入り口花壇整備受託			
事業達成目標	バラ年間育成講座(平成16年度～)の受講生を増やし、バラの育成等の楽しさを広く市民の方に知っていただくとともに、講座を通じての仲間づくりや、ボランティアの育成を進め、各家庭をはじめ市内にバラを咲かせ、バラを通じた地域の活性化を目指す。また、講座修了者のボランティア活動によるバラ園管理作業にも繋げていく。			
当期結果の考察	バラ講座の修了者により、ボランティア団体が設立され、平成19年度より活動を開始。平成23年度からは6公園、平成29年度からは7公園のバラ園の一部の維持、管理をこの団体が行っている。ボランティアの人数も100名を超えた。			
各年度決算状況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	58,046	66,448	17,623	17,556
市支出額	61,444	68,461	18,576	18,544
市支出割合	105.9%	103.0%	105.4%	105.6%

事業名	花と緑の普及啓発及び推進事業			
区分	自主			
事業の概要	緑の日に緑の祭典を開始する。20年度より春、秋に、23年度より年1回、バラフェア(いちかわローズフェア)を実施。 花と緑の講座の実施。緑の相談日開設。			
計画の期間	いちかわローズフェア、花と緑の講座、緑の相談(園芸相談)等は市民ニーズに沿った品種と傾向を盛り込み当分継続する。			
事業達成目標	広く市民への緑化推進活動の周知を行い、市川市内の緑化の推進に努めていく。			
当期結果の考察	いちかわローズフェア、花と緑の講座、園芸相談等に市民の関心が高まり、参加傾向にあるが、講座の内容がマンネリ化してきているので、講座の内容や花材の見直しなどを行う必要がある。			
各年度決算状況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	13,187	9,173	6,115	7,299
市支出額	5,297	3,939	2,038	2,150
市支出割合	40.2%	42.9%	33.3%	29.5%

事業名	緑化の助成及び保全事業			
区分	自主			
事業の概要	生垣設置者、屋上緑化設置者、緑化活動への助成。 平成25年度より駐車場緑化、花壇設置助成も開始する。			
計画の期間	市内の緑被率は上昇傾向にあるものの、緑被率は依然と低下傾向にあることから、事業は今後も継続を考えている。			
事業達成目標	特に身近な市街地の緑化推進に寄与する。			
当期結果の考察	生垣設置者、屋上緑化設置者が年々低下傾向にある事から、助成事業の広報活動を実施していく。 25年度より、緑化活動団体(8団体)の助成を開始。 27年度より、緑化活動団体(10団体)に増える。 29年度より、緑化活動団体は(9団体)に減る。			
各年度決算状況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
事業費	2,038	2,724	1,165	1,370
市支出額	1,728	2,284	1,065	939
市支出割合	84.8%	83.8%	91.4%	68.5%

7.活動指標

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
いちかわローズフェアの参加者	3,000人	0人	0人	500人
緑化助成延べ件数	8件	11件	6件	2件

8.改善実績

年度	実施内容
平成14年度	基本財産の活用について、県と調整を開始する。
平成15年度	新規収益事業開始
平成17年度	市から助成事業の協力要請を受ける。基本財産で国債を購入。市から2名の派遣職員を受ける。採算性の悪い収益事業から撤退。
平成19年度	収益事業の拡充を図る。
平成20年度	預貯金による基本財産で国債を追加購入。
平成21年度	収益事業の拡充を図る。
平成22年度	公益財団法人移行に向けて検討。
平成23年度	公益財団法人移行の為、理事会、評議員会の組織変更、定款(案)の作成等を実施。
平成24年度	公益財団法人移行に向けて、規程、規則等の作成。
平成25年度	公益財団法人市川市花と緑のまちづくり財団に移行。 定款に基づき、規程規則等の見直し、修正を実施。
平成26年度	受託事業の拡大に伴う組織体制の強化(職員の増を含む)と、諸規程の改正。
平成27年度	規程、規則の制定、改正。
平成28年度	規程、規則の制定、改正。
平成29年度	規程、規則の制定、改正。
平成30年度	規程、規則の制定、改正。
令和元年度	基本財産の運用の見直し(利息収入の減により) 組織体制の強化するため新たな職員受け入れ準備(給与規程、就業規則の改正)
令和2年度	新型コロナウイルスにより、事業活動が減ったため、基本財産の運用の見直し、今後の組織のことなどを検討。
令和3年度	感染対策を行いながら、各事業を行った。新しく市川市庁舎にバラ園をつくり、バラの普及啓発に努めた。
令和4年度	コロナウィルスの感染状況を見つ、講座数を増やした。市内の小中学校への花苗配布を開始し、花と緑の普及啓発に努めた。 又、里山の環境に配慮した維持管理業務を市川市より受託した。